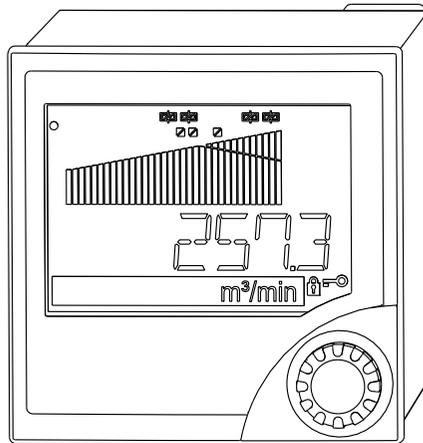


# 簡易取扱説明書

## RIA452

プロセス表示器  
ポンプ制御機能付き

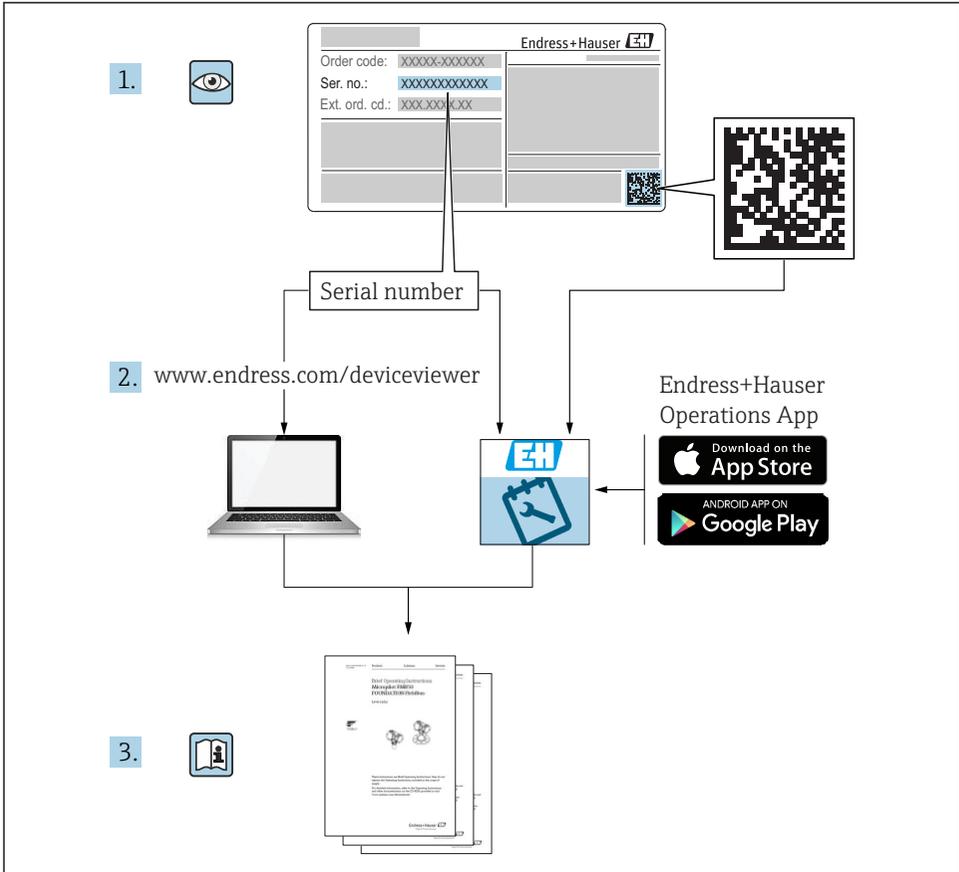


本説明書は簡易説明書であり、  
付属の取扱説明書の代わりになるものではありません。  
詳細情報については、

取扱説明書およびその他の資料を参照してください。

以下からすべての機器バージョンの資料を入手できます。

- インターネット：[www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer)
- スマートフォン/タブレット：Endress+Hauser Operations アプリ



A0023555

# 目次

<b>1</b>	<b>本説明書について</b> .....	<b>3</b>
1.1	資料の表記規則 .....	3
<b>2</b>	<b>安全上の注意事項</b> .....	<b>5</b>
2.1	要員の要件 .....	5
2.2	用途 .....	5
2.3	操作上の安全性 .....	5
2.4	製品の安全性 .....	5
<b>3</b>	<b>納品内容確認および製品識別表示</b> .....	<b>6</b>
3.1	製品識別表示 .....	6
3.2	納入範囲 .....	6
3.3	保管および輸送 .....	7
<b>4</b>	<b>認証と認定</b> .....	<b>7</b>
4.1	CE マーク .....	7
<b>5</b>	<b>設置</b> .....	<b>7</b>
5.1	設置条件 .....	7
5.2	表示器の取付け .....	8
<b>6</b>	<b>電気接続</b> .....	<b>9</b>
6.1	ユニバーサル入力オプション .....	11
6.2	プロセス表示器の接続 .....	13
6.3	配線状況の確認 .....	15
<b>7</b>	<b>操作オプション</b> .....	<b>15</b>
7.1	操作オプションの概要 .....	15
7.2	操作メニューの構成と機能 .....	17
7.3	現場表示器による操作メニューへのアクセス .....	19
<b>8</b>	<b>設定</b> .....	<b>22</b>
8.1	機能チェック .....	22
8.2	機器の電源投入 .....	22
8.3	機器の設定 .....	22

## 1 本説明書について

### 1.1 資料の表記規則

#### 1.1.1 安全シンボル



**危険**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。



**警告**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。

**⚠ 注意**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

**注記**

人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

**1.1.2 電気シンボル**

シンボル	意味	シンボル	意味
	直流		交流
	直流および交流		<b>アース端子</b> オペレータに関する限り、接地システムを用いて接地された接地端子

シンボル	意味
	<b>保安アース (PE)</b> その他の接続を行う前に、接地接続する必要のある端子 接地端子は機器の内側と外側にあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内側の接地端子：保安アースと電源を接続します。</li> <li>■ 外側の接地端子：機器とプラントの接地システムを接続します。</li> </ul>

**1.1.3 特定情報に関するシンボル**

シンボル	意味	シンボル	意味
	<b>許可</b> 許可された手順、プロセス、動作		<b>推奨</b> 推奨の手順、プロセス、動作
	<b>禁止</b> 禁止された手順、プロセス、動作		<b>ヒント</b> 追加情報を示します。
	資料参照		ページ参照
	図参照	<b>1, 2, 3...</b>	一連のステップ
	操作・設定の結果		目視確認

**1.1.4 図中のシンボル**

シンボル	意味	シンボル	意味
<b>1, 2, 3, ...</b>	項目番号	<b>1, 2, 3...</b>	一連のステップ
<b>A, B, C, ...</b>	図	<b>A-A, B-B, C-C, ...</b>	断面図
	危険場所		安全区域 (非危険場所)

### 1.1.5 登録商標

#### HART®

HART Communication Foundation, Austin, USA の登録商標です。

#### Applicator®, FieldCare®, Field Xpert™、HistoROM®

Endress+Hauser グループの登録商標または登録申請中の商標です。

## 2 安全上の注意事項

### 2.1 要員の要件

作業を実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

### 2.2 用途

本プロセス表示器は、アナログのプロセス変数を演算し、それをマルチカラーディスプレイに表示します。表示器の出力とリミットリレーを使用してプロセスの監視と制御が可能です。機器には、このための幅広いソフトウェア機能が備えられています。内蔵の伝送器用電源により、2線式センサに電源が供給されます。

- 本機器は関連電気機器であると見なされるため、危険場所には設置できません。
- 弊社は、製品の間違った使用や、使用目的以外の使用により起こった損害に対して責任を負いません。本機器にいかなる変更または改造を加えることも禁止されています。
- 本機はパネルに取り付けるように設計されており、取り付けられた状態でのみ操作できます。

### 2.3 操作上の安全性

けがに注意！

- ▶ 適切な技術的条件下でエラーや不具合がない場合にのみ、機器を操作してください。
- ▶ 施設業者には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

### 2.4 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

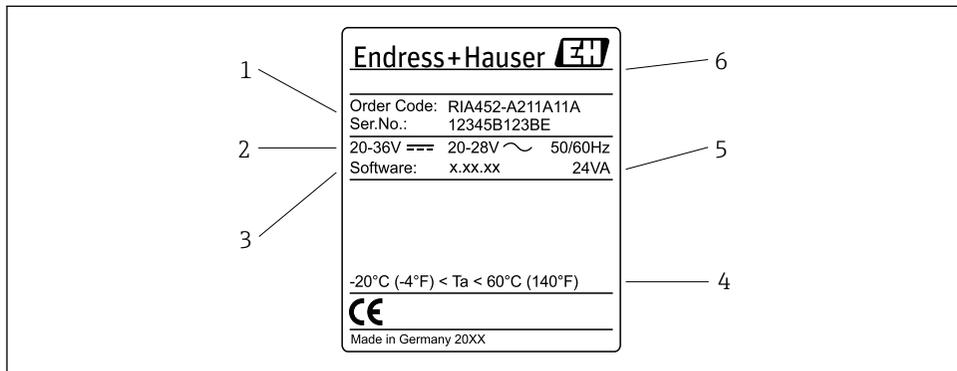
本機は一般的な安全基準および法的要件を満たしています。また、機器固有の EC 適合宣言に明記された EC 指令にも準拠します。Endress+Hauser は機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

## 3 納品内容確認および製品識別表示

### 3.1 製品識別表示

#### 3.1.1 銘板

以下の図と機器の銘板を比較してください。



A0031242

#### 図 1 プロセス表示器の銘板 (例)

- 1 機器のオーダーコードおよびシリアル番号
- 2 電源
- 3 ソフトウェアバージョン番号
- 4 周囲温度
- 5 電源
- 6 製造者名および所在地

#### 3.1.2 製造者名および所在地

製造者名：	Endress+Hauser Wetzler GmbH + Co. KG
製造者の住所：	Obere Wank 1, D-87484 Nesselwang または <a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a>

## 3.2 納入範囲

プロセス表示器の納入範囲は以下の通りです。

- パネル取付け用のプロセス表示器
- 簡易取扱説明書のハードコピー (多言語)
- PC 設定ソフトウェアが収録された CD-ROM および RS232 インターフェイスケーブル (オプション)
- 固定クリップ
- シーリングリング



取扱説明書の「アクセサリ」セクションの機器のアクセサリを参照してください。

### 3.3 保管および輸送

#### 保管温度

-30~+70 °C (-22~+158 °F)

## 4 認証と認定

### 4.1 CE マーク

本製品はヨーロッパの統一規格の要件を満たしています。したがって、EC 指令による法規に適合しています。Endress+Hauser は本機器が試験に合格したことを、CE マークの貼付により保証いたします。

## 5 設置

### 5.1 設置条件

設置および操作中は、許容周囲条件を順守してください（取扱説明書の「技術データ」セクションを参照）。本機器は、熱にさらされないように保護する必要があります。

#### 5.1.1 取付寸法

必要なパネル開口部は 92 mm (3.62 in) x 92 mm (3.62 in) です。機器とケーブルを合わせた設置奥行きは 150 mm (5.91 in) になります。寸法の詳細については、→  2,  8 および取扱説明書の「技術データ」セクションを参照してください。

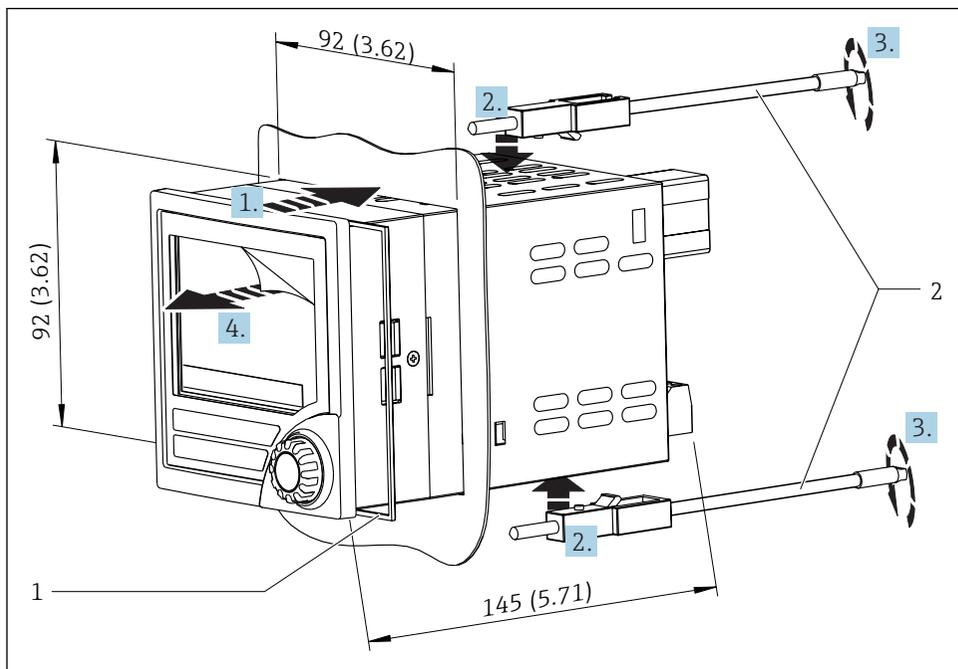
#### 5.1.2 取付位置

パネルへの設置。振動のない場所に設置してください。適切な電氣的、耐火、機械的エンクロージャを用意する必要があります。

#### 5.1.3 取付方向

水平、各方向に  $\pm 45^\circ$

## 5.2 表示器の取付け



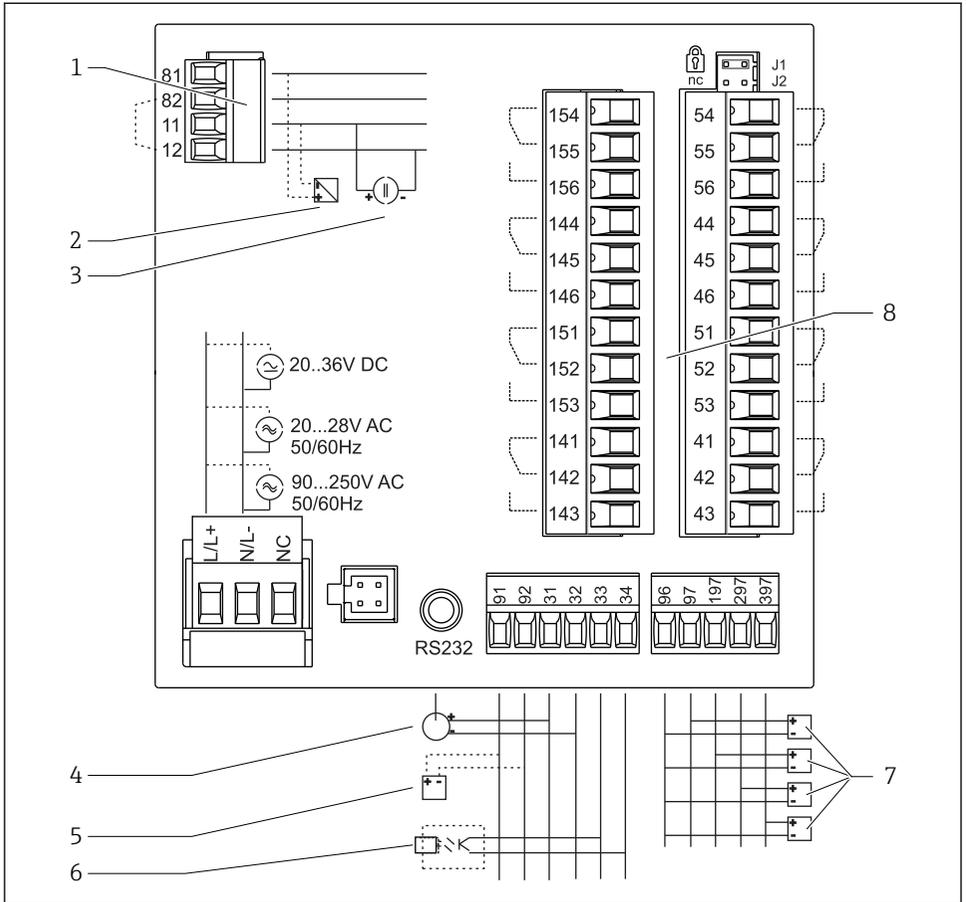
A0031247

図 2 パネルへの設置

### 表示器の取付け

1. シールリング（項目 1）付きの機器を前面からパネル開口部に押し込みます。
2. 機器を水平に保ち、固定クリップ（項目 2）を用意された開口部に留めます。
3. ドライバーを使用して固定クリップのネジを均一に締め付けます。
4. ディスプレイの保護フィルムを外します。

## 6 電気接続



A0031253

図 3 プロセス表示器の端子割当て。内部回路は点線で図示。

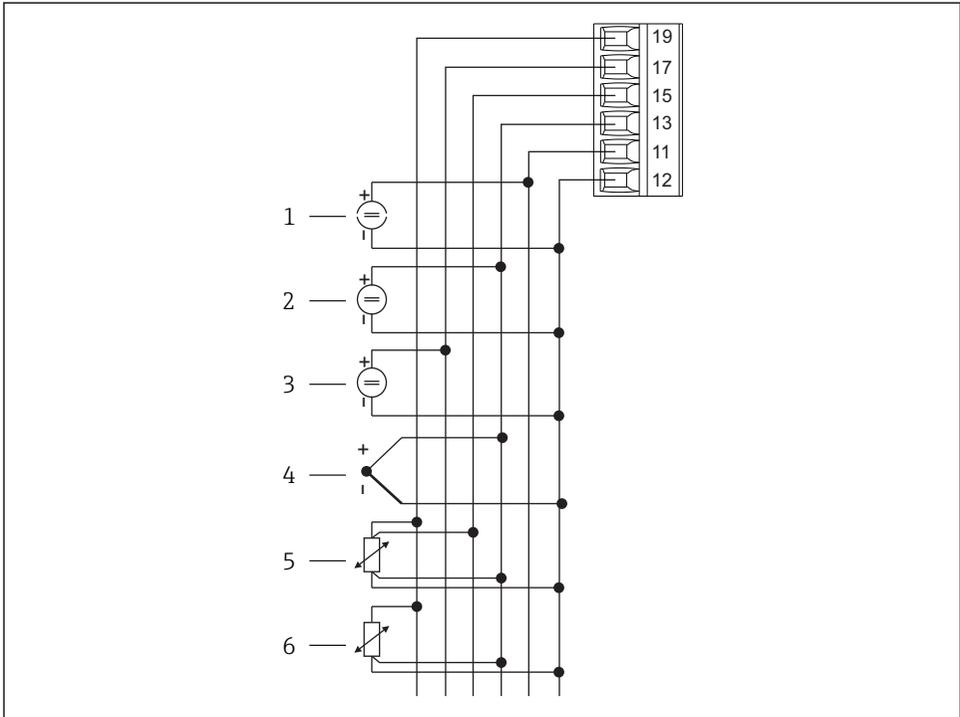
- |   |   |
|---|---|
| <p>1 電流入力、端子 12 と 82 は内部ジャンプ接続</p> <p>2 電流ループ、伝送器用電源 最大 22 mA 電流入力</p> <p>3 電流入力 0~20 mA</p> <p>4 アナログ出力 0~20 mA、0~10 V<sub>DC</sub></p> <p>5 伝送器用電源、24 V、≤250 mA</p> | <p>6 デジタル出力、パッシブオープンコレクタ、最大 28 V、200 mA</p> <p>7 DIN 19240 準拠のデジタル入力；電圧レベル：-3~5 V 低、12~30 V 高、入力電流タイプ 3 mA（過負荷および逆接続保護付き）、入力電圧 最大 34.5 V、スキャン周波数 最大 10 Hz</p> <p>8 リレー出力：リレー 1~8；250 V<sub>AC</sub>/30 V<sub>DC</sub>、3 A</p> |
|---|---|

端子	端子の割当て	説明
L/L+	ACの場合はL DCの場合はL+	電源接続
N/L-	ACの場合はN DCの場合はL-	
NC	接続なし	
J1	ハードウェアを介して機器操作をロックするためのジャンパ。ジャンパがJ1に設定されている場合、設定を変更することはできません。	ジャンパがJ1に設定されている場合でも、RS232経由のPCソフトウェアを使用して、いつでも機器を設定することが可能です。
J2	接続なし	
11	+0/4~20 mA	電流入力
12	信号接地 (電流)	
81	24 V センサ電源 1	伝送器用電源 (必要に応じて、本質安全仕様)
82	接地、センサ電源 1	
41	ノーマルクローズ (NC)	リレー 1
42	コモン (COM)	
43	ノーマルオープン (NO)	
51	ノーマルクローズ (NC)	リレー 2
52	コモン (COM)	
53	ノーマルオープン (NO)	
44	ノーマルクローズ (NC)	リレー 3
45	コモン (COM)	
46	ノーマルオープン (NO)	
54	ノーマルクローズ (NC)	リレー 4
55	コモン (COM)	
56	ノーマルオープン (NO)	
141	ノーマルクローズ (NC)	リレー 5
142	コモン (COM)	
143	ノーマルオープン (NO)	
151	ノーマルクローズ (NC)	リレー 6
152	コモン (COM)	
153	ノーマルオープン (NO)	
144	ノーマルクローズ (NC)	リレー 7
145	コモン (COM)	
146	ノーマルオープン (NO)	

端子	端子の割当て	説明
154	ノーマルクローズ (NC)	リレー 8
155	コモン (COM)	
156	ノーマルオープン (NO)	
96	デジタルステータス入力の接地	デジタル入力
97	+ デジタルステータス入力 1	
197	+ デジタルステータス入力 2	
297	+ デジタルステータス入力 3	
397	+ デジタルステータス入力 4	
31	+ アナログ出力	アナログ出力 (オプション)
32	接地、アナログ出力	
33	+ デジタル出力	デジタル出力 (オプション)
34	接地、デジタル出力	
91	24 V センサ電源 2	伝送器用電源
92	接地、センサ電源 2	

## 6.1 ユニバーサル入力オプション

本機器は、電流入力の代わりにオプションでユニバーサル入力を装備することが可能です。



A0031256

図 4 ユニバーサル入力の端子割当て

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 電流入力 0/4~20 mA | 4 熱電対            |
| 2 電圧入力 ±1 V      | 5 測温抵抗体ユニット、4 線式 |
| 3 電圧入力 ±30 V     | 6 測温抵抗体ユニット、3 線式 |

端子	端子の割当て
11	+0/4~20 mA 信号
12	信号接地 (電流、電圧、温度)
13	+1 V、+ 熱電対、- 測温抵抗体ユニット信号 (3 線式/4 線式)
15	+ 測温抵抗体ユニット信号 (4 線式)
17	+30 V
19	+ 測温抵抗体ユニット電源 (3 線式/4 線式)

## 6.2 プロセス表示器の接続

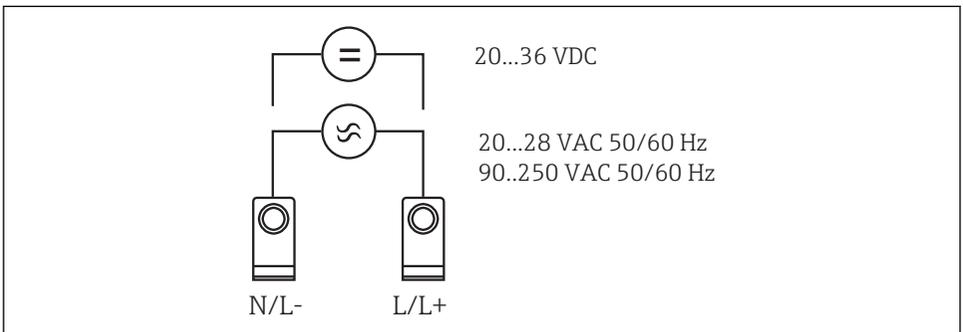
### ⚠ 警告

**危険！感電の恐れがあります！**

▶ 機器すべての接続は、必ず機器の電源を遮断した状態で行ってください。

### 6.2.1 電源接続

- 機器を配線する前に、電源電圧が銘板の仕様に適合していることを確認してください。
- 90～250 V<sub>AC</sub> バージョン（電源接続）の場合、回路遮断器のマークが付いたスイッチ、ならびに過負荷保護装置（定格出力 ≤ 10 A）を機器の近くの電源供給ライン（アクセスしやすいところ）に取り付ける必要があります。
- 20～35 V<sub>DC</sub> または 20～28 V<sub>AC</sub> バージョンの場合：本機器には、UL/EN/IEC 61010-1、9.4 項および表 18 の要件に準拠した制限エネルギー回路で作動する電源ユニットからのみ電源供給する必要があります。



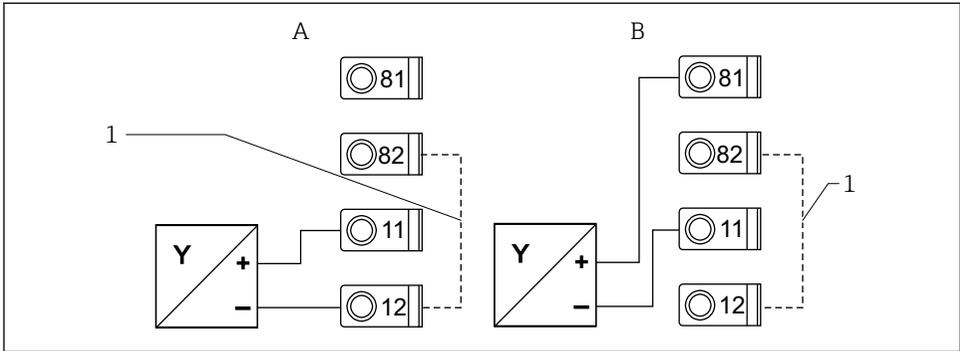
A0031259

### 5 電源接続

### 6.2.2 外部センサの接続

**i** 本機器には、アナログセンサ、熱電対センサ、抵抗センサ、測温抵抗体センサを装備したアクティブセンサおよびパッシブセンサを取り付けることができます。

電流入力 0/4~20 mA

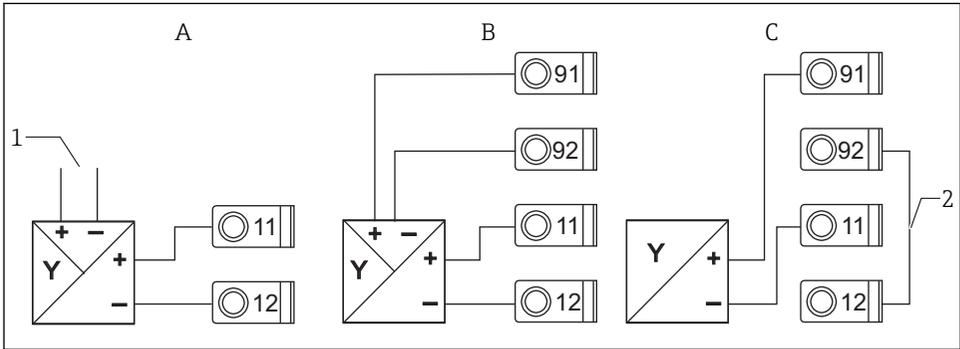


A0031273

図 6 2 線式センサと電流入力 0/4~20 mA の接続

- A アクティブセンサ
- B パッシブセンサ
- 1 端子 12 と 82 は内部ジャンパ接続

ユニバーサル入力



A0031273

図 7 4 線式センサ、伝送器用電源、ユニバーサル入力の接続

- A アクティブセンサ、4 線式
- 1 電源
- B パッシブセンサ、4 線式
- C パッシブセンサ、2 線式
- 2 端子 12 と 92 は外部ジャンパ接続

## 6.3 配線状況の確認

機器の状態と仕様	備考
機器あるいはケーブルに損傷がないか (外観検査) ?	-

電気接続	備考
供給電圧が型式銘板の表示に合っているか ?	90~250 V <sub>AC</sub> (50/60 Hz) 20~36 V <sub>DC</sub> 20~28 V <sub>AC</sub> (50/60 Hz)
すべての端子が正しいスロットにしっかりとはめ込まれているか ? 各端子の番号コードは正しいか ?	-
接続されたケーブルは引っ張られていないか ?	-
電源ケーブルおよび信号ケーブルが正確に接続されているか ?	ハウジング上の配線図を参照
すべてのネジ端子がしっかりと締められているか ?	-

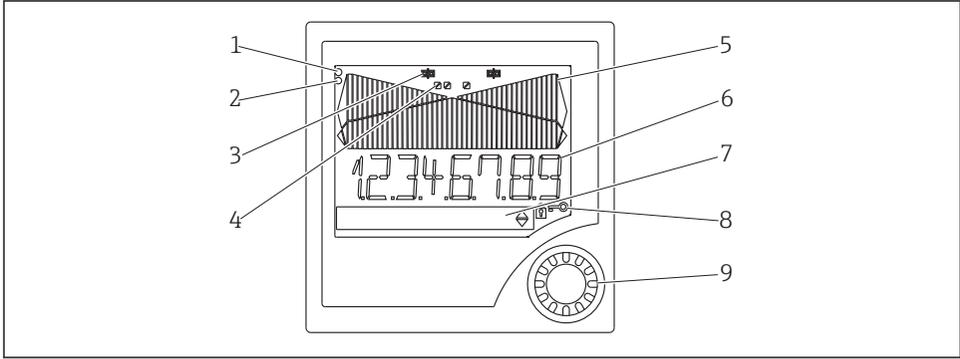
## 7 操作オプション

### 7.1 操作オプションの概要

機器の操作と設定の詳細情報、ならびに各機能の注意事項と説明については、取扱説明書を参照してください →  BA00265R。すべての操作パラメータの概要は、取扱説明書に記載されています。

#### 7.1.1 表示部および操作部

 ディスプレイの視認性に影響を及ぼす可能性があるため、ディスプレイから保護フィルムを取り外してください。



A0031274

8 表示部および操作部

- 1 動作インジケータ (緑色) : 供給電圧が印加されると点灯
- 2 エラーインジケータ (赤色) : センサまたは機器のエラー発生時に点滅
- 3 リミットインジケータ : リレーが励磁状態でシンボルが表示
- 4 デジタル入力ステータス : 緑色は操作可能な状態、黄色は信号が保留中であることを表示
- 5 バーグラフ (黄色) : 42 のセクションから成り、オレンジ/赤色のオーバーレンジ/アンダーレンジ表示
- 6 7 桁 14 セグメントの表示 : 測定値は白色で表示
- 7 9x77 ドットマトリクス表示 (白色) : テキスト、単位、メニューアイコン用
- 8 鍵/南京錠シンボル : 機器操作のロック状態を表示 (セクション 5.3.3 を参照)
- 9 現場表示器操作用のジョグ/シャトルダイヤル

7.1.2 表示

**i** トラブルシューティングの詳細については、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。

範囲	表示	リレー	アナログ出力	積算
入力電流がエラー下限値より低い	表示	エラー状態	設定されたフェールセーフモード	積算なし
入力電流がエラー下限値より高く、有効範囲の下限値より低い	表示	正常なリミット値動作	最大 10% のオーバーレンジでは正常に動作。 < 0 mA/0 V 出力は不可	正常な動作 (負の積算は不可)
有効範囲内の入力電流	スケーリングされた測定値を表示	正常なリミット値動作	最大 10% のオーバーレンジでは正常に動作。 < 0 mA/0 V 出力は不可	正常な動作 (負の積算は不可)
入力電流がエラー上限値より低く、有効範囲の上限値より高い	表示	正常なリミット値動作	最大 10% のオーバーレンジでは正常に動作。 < 0 mA/0 V 出力は不可	正常な動作 (負の積算は不可)
入力電流がエラー上限値より高い	表示	エラー状態	設定されたフェールセーフモード	積算なし

## リレーインジケータ

- リレーは非励磁状態：表示なし
- リレーは励磁状態：■ (シンボルが点灯)

## デジタル入力のステータス表示

- 設定されたデジタル入力：■ (緑色)
- デジタル入力の信号：■ (黄色)

## 7.2 操作メニューの構成と機能

M1	アナログ入力 INPUT	信号タイプ	接続タイプ*	曲線	信号ダンピング	
		Signal type	Connection	Curve	Damp	
		単位	小数点	0% 値	100% 値	
		Dimension	Dec. point	0% value	100% value	
M2	表示 DISPLAY	オフセット	基準温度*	固定基準温度*	ケーブルの開回路検知	
		Offset	Comp. temp.	Const. temp.	Open circ.	
		数値表示の割当て	測定値の交互表示	バーグラフの割当て	バーグラフの小数点	
M3	アナログ出力* ANALOG OUT	Ref. num.	Displ. sw.	Ref. bargraph	Dec. point	
		バーグラフ 0% 値	バーグラフ 100% 値	バーグラフの 割当て		
		Bar 0%	Bar 100%	Ref. bargraph		
M5	デジタル入力 1-4 DIGITAL INP	割当て	ダンピング	出力レンジ	小数点	
		Ref. num.	Out damp	Out range	Dec. point	
		0% 値	100% 値	オフセット	エラー発生時の出力	
M10- M17	リミット 1-4 (8)* LIMIT	Out 0%	Out 100%	Offset	Fail mode	
		フェールセーフ値	シミュレーション mA	シミュレーション 電圧		
		Fail value	Simu mA	Simu V		
M10- M17	リミット 1-4 (8)* LIMIT	機能 デジタル入力 1-4	アクティブレベル 1-4	サンプリング時間 ポンプ監視		
		Function	Level	Sampl. time		
M10- M17	リミット 1-4 (8)* LIMIT	割当て	機能 1-4 (8)	小数点	スイッチポイント A	スイッチポイント B
		Ref. num	Function	Dec. point	Setpoint A	Setpoint B

	ヒステリシス またはスイッチ バック勾配	切り替え遅延 1-4 (8) 秒単 位	オルタネート 機能 1-4	24 時間カウ ントでの遅延 時間、最初の 起動	24 時間後の スイッチオン 時間、最初の 起動	
	Hysteresis	Delay	Alternate	Sw. delay	Sw. period	
	運転時間の表 示 1-8	切り替え頻度 の表示 1-8	切り替え頻度 と運転時間の リセット	リレーシミュ レーション		
	Runtime	Count	Reset	Simu relay		
M18	積算* Integration	積算用の信号 源	プリセットカ ウンタ	積算基準	係数小数点	変換係数
	Ref. Integr.	Pre-counter	Integr. base	Dec. factor	Factor	
	積算計 単位	積算計 小数 点	プリセットカ ウンタ設定	予備アラーム 設定	積算計 表示	
	Dimension	Dec. point T	Set count A	Set count B	Totalizer	
	積算計リセッ ト	流量計算	入力信号の単 位	リニアライズ 補正された値 の単位	計算式の小 数点	
	Reset total	Calc flow	Dim. Input	Dim. flow	Dec. flow	
	表示の小 数点	アルファ値	ベータ値	ガンマ値	C 値	
	Dec. point	Alpha	Beta	Gamma	C	
	Khafagi ベン チュリフリュ ーム	ISO ベンチュ リフリューム	英国規格準拠 のベンチュリ フリューム	パーシャルフ リューム	パーシャルポ ーラスフリュ ーム	
	Kha Venturi	Iso-Venturi	BST-Venturi	Parshall	Parshall-Bow	
	四角堰	四角堰 くび れ付き	NFX 準拠の四 角堰	NFX 準拠の四 角堰 くびれ 付き	台形堰	
	Rect. WTO	Rect. WThr	NFX Rect. WTO	NFX Rect. WThr	Trap. WTO	
	三角堰	英国規格準拠 の三角堰	NFX 準拠の三 角堰	幅		
	V. weir	BST V. weir	NFX V. weir	width		
M19	パルス出力* PULSE OUT	パルス値の小 数点	パルス値	パルス幅	パルス出力シ ミュレーション	
	Dec value	Unit value	Pulse width	Sim pulseout		
M20	最小/最大メモリ MIN/MAX	最小/最大用 信号源	小数点	最小値表示		
	Ref. Min/Max	Dec. point	Min. value			
	最大値表示	最小値リセッ ト	最大値リセッ ト			

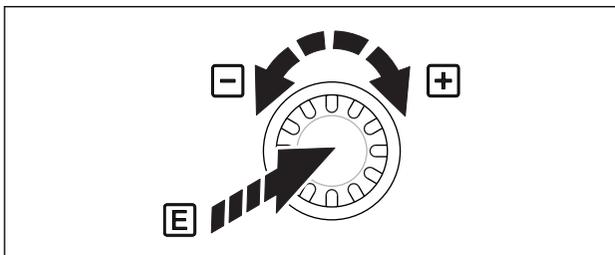
		Max. value	Reset min	Reset max		
M21	リニアライゼーションテーブル LIN-TABLE	ポイント数 Counts	リニアライズ補正された値の単位 Dimension	Y軸の小数点 Dec. Y value	全リニアライゼーションポイントの削除 Del points	全リニアライゼーションポイントの表示 Show points
M23-Mxx	リニアライゼーションポイント NO 01 NO 32	X軸 X value	Y軸 Y value			
M55	操作パラメータ PARAMETERS	オペレータコード User code	リミット値ロック Limit lock	プログラム名 Prog. name	プログラムバージョン Version	機能ポンプ回転 Func. alt.
		リレーロック時間 Lock time	リレーフェールセーフモード Rel. mode	勾配評価時間 Grad. time	4-20 mA 入力時のフェールセーフモード Namur	エラーリミット 1 Range 1
		エラーリミット 2 Range 2	エラーリミット 3 Range 3	エラーリミット 4 Range 4	ディスプレイのコントラスト Contrast	
M56	SERVICE	サービス作業者専用。サービスコードを入力する必要があります。				
M57	EXIT	メニューを終了します。パラメータを変更した場合は、変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。				
M58	SAVE	変更が保存され、メニューが終了します。				
*) 対応するオプションが機器にインストールされている場合にのみ使用できます。						

## 7.3 現場表示器による操作メニューへのアクセス

ジョグ/シャトルダイヤルを 3 秒以上押すと、操作メニューがアクティブになります。

### 7.3.1 ジョグ/シャトルダイヤルによる操作

#### A) 3 つのキー機能

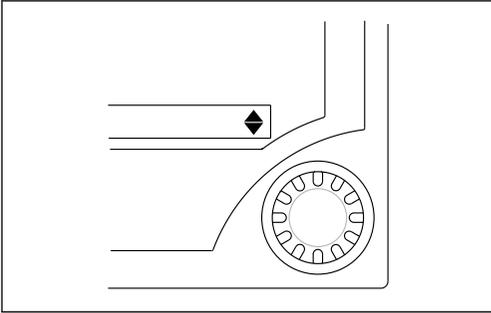


- 押す = 「Enter」
- 時計回りに回す = 「+」
- 反時計回りに回す = 「-」

A0091352

図 9 ジョグ/シャトルダイヤルによる操作

## B) リスト選択

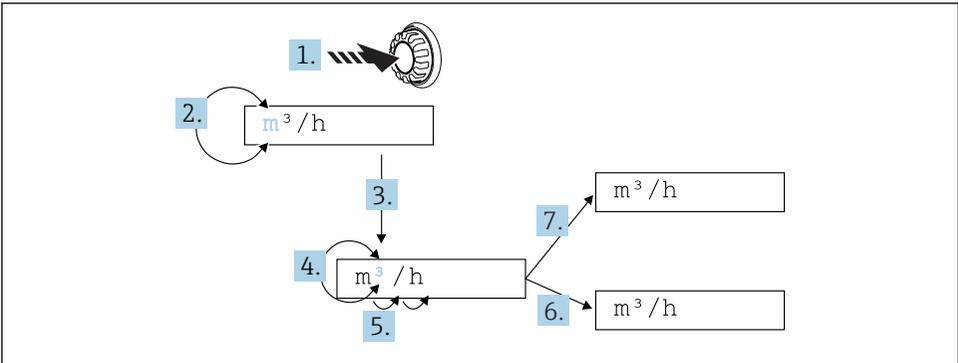


A0031353

図 10 ジョグ/シャトルダイヤルによるリスト選択

- ▼ 下矢印：  
選択リストの先頭に位置しています。ジョグ/シャトルダイヤルを右に回すと、他の項目が表示されます。
- ▲ 上下矢印：  
▼ 選択リストの中間に位置しています。
- ▲ 上矢印：  
選択リストの最後に位置しています。ジョグ/シャトルダイヤルを左に回すと、選択リストの先頭方向に戻ります。

### 7.3.2 テキスト入力



A0031359

図 11 プロセス表示器のテキスト入力

1. ジョグ/シャトルダイヤルを 3 秒以上長押しします。  
↳ 最初の文字が点滅を開始します。
2. 文字を変更するには、ダイヤルを左または右に回します。
3. ジョグ/シャトルダイヤルを短く押しします。  
↳ 文字が取り込まれ、次の文字が点滅します。
4. 文字を変更するには、ダイヤルを左または右に回します。「<」シンボルを選択すると、前の文字に戻ります。
5. ジョグ/シャトルダイヤルを短く押しします。  
↳ 文字が取り込まれ、次の文字が点滅します。

6. このようにして、すべての文字を設定/変更します。最後の文字を設定したら、ジョグ/シャトルダイヤルを短く押します。
  - ↳ 入力内容が取り込まれます。
7. または、任意の位置でジョグ/シャトルダイヤルを1秒以上長押ししてから離します。
  - ↳ 入力内容が拒否されます。

### 入力可能な文字

テキストの入力には、以下の文字を使用できます。

スペース

+ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789/%  
\*23+-.;:\*()< (リターン記号)

### 7.3.3 設定のロック

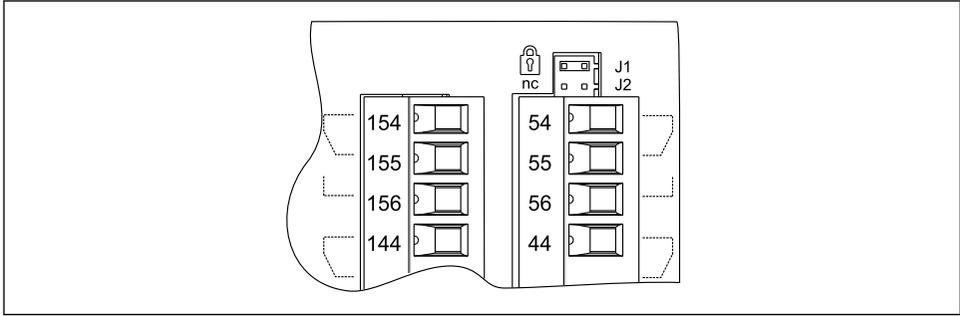
#### ユーザーコード

4桁のコードを入力することにより、不正アクセスに対して設定をロックできます。このコードは、項目 55「Parameter/User Code」(パラメータ/ユーザーコード)で設定されます。すべての操作パラメータは表示されたままになりますが、変更するにはユーザーコードの入力が必要になります。ディスプレイに「鍵」シンボルが表示されます。

リミット値もロックしたい場合は、メニュー項目 55 の「Limit Code」(リミットコード)を「On」に設定します。リミット値はユーザーコードを入力した後にのみ変更できます。リミットコードを「Off」に設定すると、ユーザーコードを入力しなくてもリミット値の変更が可能です。ただし、これ以外のパラメータはすべてロックされます。

#### ハードウェア書き込みロック

機器背面にあるプラグを使用して設定をロックすることも可能です (→  12,  22)。このロックは、ディスプレイに「南京錠」シンボルで示されます。ハードウェア機器ロックを行う場合は、背面の右上隅にあるジャンパを J1 の位置に設定します。



A0031364

図 12 機器背面のジャンパ位置

**i** ハードウェアロックは、PC 操作ソフトウェアには影響しません。

## 8 設定

### 8.1 機能チェック

本機器を設定する前に、取付後のチェックがすべて実施されていることを確認してください。

接続チェックリストの確認 → 図 15

**i** ディスプレイの視認性が損なわれるため、ディスプレイの保護フィルムは取り外してください。

### 8.2 機器の電源投入

動作電圧が印加されると、緑色の LED によって機器が操作可能であることが示されます。

- ユニットの納入時には、工場出荷時の設定に従った機器パラメータが使用されます。
- すでに設定またはプリセットされた機器を動作させる場合は、設定に応じて直ちに測定が開始されます。最初の測定値が特定されると、リミット値は切り替わります。
- リミット値は、有効な測定値が存在する場合にのみ、設定に従ってアクティブになります。

### 8.3 機器の設定

機器設定の詳細については、取扱説明書 → 図 BA00265R を参照してください。





71481626

[www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)

---